

平成29年度決算の概要

長野県立病院機構

1 延患者数

入院患者数 24万9,317人（前年度比 2,634人、1.1%の増）
 <対前年比（%）信州：105.0 駒ヶ根：103.9 阿南：108.1 木曾：91.8 こども：99.1>

外来患者数 40万3,044人（前年度比 △1,203人、0.3%の減）
 <対前年比（%）信州：100.9 駒ヶ根：99.8 阿南：99.7 木曾：97.1 こども：102.8>

2 損益

○経常収益 232億79万1千円（前年度比 1億627万9千円、0.5%の増）

【主な要因】

- ・こころの医療センター駒ヶ根で入院患者の増加による +4,932万円
- ・こども病院で入院患者数は減少したが、診療単価の増加による +1億3,410万円

○経常費用 233億2,429万2千円（前年度比 △3,401万9千円、0.1%の減）

【主な要因】

- ・高額薬剤の使用量の減少等による材料費の減 △6,026万8千円

○経常損益 1億2,350万1千円の損失（前年度比 +1億4,029万8千円）

○純損益 1億3,045万8千円の損失（前年度比 +1億3,334万円）

○純資産 △2,391万円

【損益】

（単位：千円）

科 目	H29決算	H29計画	決算－計画	H28決算	H29-H28
経常収益（ア）	23,200,791	23,539,872	△ 339,081	23,094,512	106,279
医業収益	16,814,272	17,173,150	△ 358,878	16,710,140	104,133
介護老人保健施設収益	375,370	385,674	△ 10,304	370,829	4,542
看護師養成所収益	18,970	19,649	△ 679	19,744	△ 774
運営費負担金収益	5,480,000	5,480,000	0	5,480,000	0
その他経常収益	512,179	481,399	30,780	513,800	△ 1,621
経常費用（イ）	23,324,292	23,508,257	△ 183,965	23,358,311	△ 34,019
医業費用	21,374,907	21,491,610	△ 116,703	21,354,722	20,185
介護老人保健施設費用	423,576	449,281	△ 25,705	442,311	△ 18,735
看護師養成所費用	159,185	161,082	△ 1,897	156,767	2,419
一般管理費	355,327	375,289	△ 19,962	355,969	△ 642
財務費用（支払利息）	449,510	454,156	△ 4,646	492,106	△ 42,595
その他経常費用	561,785	576,839	△ 15,054	556,436	5,349
経常損益（ア－イ）	△ 123,501	31,615	△ 155,116	△ 263,799	140,298
臨時損益（ウ）	△ 6,958	0	△ 6,958	0	△ 6,958
当期純損益（ア－イ+ウ）	△ 130,458	31,615	△ 162,073	△ 263,799	133,340

3 病院別損益状況及びH30の主な取組（上段：H29の損益状況、下段：H30の主な取組）

病院名	主な内容
信州医療センター	○再開した産婦人科の分娩数が休止前の水準まで回復しなかったことや、看護師配置基準を7対1から10対1に変更したことにより診療報酬が減少
	→ 地域包括ケア病棟の増床（46床→49床）
	→ 産科医療の充実により分娩件数の増（123件→265件） → 市町村がん検診の受託等により内視鏡検査件数の増（6,400件→7,800件）
こころの医療センター 駒ヶ根	○入院患者数の増加、退職職員等による人件費の削減により、経常損益は黒字に回復
	→ 入院期間の適正化（退院後3か月以内の再入院率の減少）
	→ 多職種連携による効果的なプログラムによる「思春期デイケア」の実施 → 地域の医療、保健、福祉機関などとの情報交換等を行い連携体制の強化
阿南病院	○常勤外科医の配置により入院患者が増加したことにより収益が拡大
	→ 小児科の日曜診療の実施
	→ 訪問看護ステーションと連携し、地域の訪問看護体制の充実を図る
木曾病院	○常勤循環器内科医等の不在による入院患者の減少に伴う経常収益の減少
	→ 循環器内科の診察を週3回から週5回に拡充
	→ 常勤の循環器内科医等の確保に向けて信州大学と連携
	→ 地域包括ケア病棟の開設（48床） → 許可病床の変更（259床→239床）
こども病院	○入院患者数は減少したが、一人当たりの診療単価（入院・外来とも）が増加したため減少分をカバーして収益が増大
	→ 通年での多職種による産後の精神的なサポート体制の構築（常勤精神科医師の着任）
	→ ローリスク分娩の受入れ拡充による分娩数の増加（293件→380件） → 成人のがん患者に対する放射線治療を拡充（近隣医療機関との連携）
共通の 取り組み	<p>機構の経営改革を着実に実行するため、<u>原田理事（前こども病院長）</u>を本部の『<u>改革統括医療監</u>』に任命し、経営改革体制を強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営改善プログラムの着実な実行により2,200万円以上の利益を確保 ○看護・医療技術職員数の適正化及び必要な医師の確保 ○給与費削減に向けた取り組み ○中長期ビジョンの策定

【病院別損益】

（単位：千円）

区分	信州	駒ヶ根	阿南	木曾	こども	老健	看護学校	本部	計
経常収益	6,568,626	2,000,712	1,851,682	4,193,105	7,933,486	485,938	133,621	33,621	23,200,791
（前年度比）	101.6%	103.4%	103.8%	94.5%	101.4%	101.3%	-	94.9%	100.5%
経常費用	6,670,987	1,975,527	1,643,957	4,254,060	7,796,334	463,522	160,459	359,446	23,324,292
（前年度比）	103.3%	100.0%	101.3%	95.0%	99.7%	95.4%	-	99.6%	99.9%
経常損益	△ 102,361	25,185	207,725	△ 60,955	137,152	22,416	△ 26,838	△ 325,826	△ 123,501
（前年度差）	△ 109,509	66,291	47,639	△ 22,365	130,770	28,612	△ 807	△ 334	140,298
純損益	△ 109,319	25,185	207,725	△ 60,955	137,152	22,416	△ 26,838	△ 325,826	△ 130,458
（前年度差）	△ 116,467	66,291	47,639	△ 22,365	130,770	28,612	△ 807	△ 334	133,340